

## 第 1 1 6 回 病態生化学セミナー

日時：平成 2 9 年 6 月 3 0 日（金曜日）午後 6 時 0 0 分～

場所：医学部講義棟 1 階 国際交流ラウンジ

演題：非 AUG 開始コドンの翻訳制御

Control of non-AUG translation in eukaryotes

演者：浅野 桂 先生

カンザス州立大学生物学科 教授

リボソームによる翻訳の開始コドンは AUG だが、GUG や CUG など非 AUG 開始コドンからの翻訳開始が最近注目されている。これらの非 AUG 開始コドンが幅広い生物種においてみられるのはどうしてだろうか？原核生物では、例えば GUG コドンを使うことで翻訳開始を RNA 構造変化によって効率よく調節することが可能になる。真核生物では非 AUG コドンからの開始は通常は高くないが、翻訳開始因子のバランスが崩れると高まる。これを防ぐために真核生物には 5MP と呼ばれる調節因子が存在する。5MP は癌化を促す因子である。非 AUG 開始コドンは癌抑制遺伝子や癌原性遺伝子の翻訳開始にも使われており、非 AUG 開始コドンが癌化とその抑制にどう関連するのか考察したい。

【浅野 桂】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail [turano@med.shimane-u.ac.jp](mailto:turano@med.shimane-u.ac.jp)